

今年もがんばります。

京都から 新しい政治の流れを



新しい年が明けました。

自衛隊への「駆け付け警護」任務の付与、TPP承認・関連法、年金カット法、カジノ解禁推進法の相次ぐ強行採決など、安倍政権による暴走は目に余るものがあります。日本共産党議員団は市民とスクラムを組んで、暴走政治にストップをかけるため全力をあげました。野党と市民の共闘も、参議院選挙や新潟知事選挙で大きく前進しました。

国が国民の命やくらしを脅かそうとしている時、国にハッキリと物を言い、防波堤の役割をはたす自治体の役割が問われています。ところが、門川市長は、国の悪政をそのまま持ち込み、市民のくらし破壊、ホテル誘致や再開発のための規制緩和をすすめています。美術館の命名権問題などで、「聞く耳をもたない」姿勢が、ますます明らかになっています。

リストラと市民サービス切り下げの「京^{みどり}プラン後期実施計画」の撤回を求め、市民の命とくらし、京都の良さを守る市政へと転換させるため、今年もみなさんにごいっしょに、全力でがんばります。

二〇一七年一月

日本共産党京都市議員団

ご意見をお寄せ下さい

発行 ● 2017年1月

日本共産党京都市議員団

京都市中京区河原町御池 京都市役所内

→日本共産党京都市議員団は、以上の見解を發表しました。

E-mail ● info@cpgkyoto.jp <http://cpgkyoto.jp/> 検索

TEL 222-3728 FAX 211-2130

市民の命とくらしを守り、 京都の良きを守る。市政を

戦争法廃止、 自衛隊は南スーダンから撤退を

自衛隊が「駆け付け警護」の任務を負って南スーダンに派遣されています。「殺し、殺される」最初のケースとなりかねません。「自衛隊は南スーダンから撤退を」「憲法違反の戦争法は廃止を」と、毎月19日の市役所前からのデモ行進に参加し、市民観光客にアピールしています。



「戦争法廃止」デモ行進

京都市美術館の 「命名権」売却は撤回すべき

京都市美術館のネーミングライツ（命名権）問題について、美術関係者や市民の怒りはますます広がっており、「撤回を求める署名」は約3000筆に。市民不在の暴挙である「命名権」の売却は撤回すべきです。多額の費用がかかる再整備は設計の見直しも求められています。



京都市美術館

家庭ごみ袋代の値下げを

「家庭ごみ袋代の値下げ」は、ごみ減量に取り組んでいる市民の切実な願いです。9月市会に2つの「家庭ごみ袋代値下げを求める請願」が提出されました。しかし、11月市会で自民・公明・民進・維新・京都党の反対により、いずれの請願も「不採択」となりました。

「市民の宝」敬老乗車証を守れ

「敬老乗車証守ろう！連絡会」と日本共産党議員団が共催で開いた「家計簿調査」報告会に90人を超す市民が参加。敬老乗車証の利用状況を調べた「家計簿調査」には1000枚をこす報告が寄せられました。その「中間まとめ」と市会の論戦が報告され、地域での運動が交流されました。



「家計簿調査」報告集会(12月3日)



請願の提出場面

2017年度京都市予算編成に対する 要求書を提出

日本共産党議員団は11月22日、18人の市会議員全員が参加して「2017年度京都市予算編成に対する要求書」を市長に提出。「京プラン後期実施計画」の撤回、京都市美術館「命名権」売却の撤回、違法「民泊」に対する指導の強化など383項目（新規49項目）を要望しています。

